



# みらいん

たいはく

「みらいん」は、  
震災からの復興に向けて  
歩むまち・仙台の“ひと”と“地域”の  
今を結ぶ情報紙です。



## 今月のひと

生きがいがづくりを支援  
する宮城大学教授

参加者がいきいきと楽しく体験できる  
農作業&加工作業をプロデュース

あすと長町仮設住宅に住む方などを対象に行われている「農業プロジェクト」とは、農作業を楽しみながら交流を図る活動のこと。宮城大学で動物免疫学を研究する森本素子教授は、同活動でマネジメントを担当しています。

「二〇一一年の秋ごろ、仮設住宅で支援活動をしているパーソナルサポートセンターさんから、交流支援を目的とした農作業の相談を受けたのがきっかけです」と話す森本さん。震災後、学生と共に物資支援や被災農家の復旧活動などを率先して行っていました。が、キャンパスのある地元・太白区での活動に二つ返事で協力することになりました。昨年は週一回のペースで、大学の附属農園での農作業や、収穫した農作物を使った加工体験を実施。参加者の「生きがいがづくり」に貢献しています。プロジェクトは、ボランティアをする学生にも良い経験になっていると語る森本さん。作業のお手伝いはもちろん、運営に学生自身が携わることで、社会貢献と共に社会性を学ぶのにも役立っています。「今後も末永く、この活動を続けていきたい」と話していました。

2013  
5月



# 緑で広がる 人とのつながり

昨年、宮城大学と一般社団法人パーソナルサポートセンターでは、被災された方を対象とした「農業プロジェクト」が実施されています。活動は、参加者の方々に土に触れる喜びだけでなく、ともに作業をすることで交流する喜びも育んでいます。昨年度の活動を通して得たそれぞれの生きがいについて、参加者の皆さんにお聞きしました。

▲はじめて見るアスパラガスの苗に興味津々の参加者の皆さん

## 「農業プロジェクト」とは

仮設住宅にお住まいで農業に従事されていた方の「農業ができなくなったつらい」という言葉を受け、農業を通して生きがいづくりを目的に実施されているプロジェクト。野菜の栽培を行う「農業体験」と、食品加工を行う「加工体験」で構成されています。

昨年度参加したのは、プレハブ仮設住宅や、借り上げ民間賃貸住宅など、市内の仮設住宅にお住まいの約十五名の方々でした。自分たちでつくった農作物を加工して販売することを目指し、活動しました。

## 昨年度の活動の様子とは？

活動は、昨年五月から始まりました。宮城大学附属坪沼農場で催された農業体験では、週に一度、苗植えや草刈りなどの農作業を行いました。夏には大学側からか



▲加工体験の一コマ。先生のレシピを見ながら、小麦粉の計量も真剣です

▶大学祭で販売する前に試作品をつくって試行錯誤。皆で意見を出し合っ、美味しいクッキーが出来上がりました



加工体験は宮城大学太白キャンパス内にある加工棟で月に一度実施されました。味噌やソーセイジなどは、はじめにつくる品に四苦八苦しながら、皆で協力して作業を進めていきました。米粉麺づくりの

「ほっこりしてて美味しいなあ」と、皆で仲良くいただきました。

活動の集大成として、十月には宮城大学の大学祭でクッキーを販売。用意した二八八袋は約五時間で完売、「自分たちでつくったものが売れるとうれしいね」と、皆で喜びを分かち合っていました。年末には、加工体験でつくったローストチキンの試食会と称したクリスマス会を開催するなど、活動を通して親睦を深めていきました。

## 今年度も開催中 途中参加OK!!

農業プロジェクトは昨年度に引き続き、実施されています。今年度の農業体験は宮城大学太白キャンパス構内のハウス栽培へ変更されたほか、作物の成長の様子で開催日が変動します。加工体験は昨年度同様、月に一度実施します。問い合わせ、参加申し込みはPSC就労支援部就労準備課電話(022-395-6258)まで。

## 緑化プロジェクト進行中

宮城大学では、週に一度、学内のガーデンングを行い、緑に触れて心をいやすことを目的とした「緑化プロジェクト」も実施しています。被災された方が対象です。問い合わせ・申し込みは、宮城大学の森本さん、電話022-245-1282、メールmorimoto@myu.ac.jp (モリノ) 連絡ください。

# 昨年度を 振り返って

## 座談会



▲「今年度もがんばるぞー!」「おおー!」と、活動に意欲を燃やす皆さんです

菊地 震災からだいぶ経ってからだよね。こういう活動に参加できるようになったの。

佐々木(英) もう何も考えられなかったもんね。頭真っ白になっちゃって。でも、時間がありすぎるのよ。テレビでは3.11を忘れないなんてやってるけど、見ててもぼろぼろ涙流れるだけでしょ。

佐々木(隆) 俺は奥さんが去年亡くなって、何もすることなくて参加したんだ。

佐々木(英) それはつらかったね。…んじゃ、なるべく参加して、(私を)彼女だと思って!

一同 笑

松本 私は震災を機に「はじめてのことに挑戦しよう」と、農業体験に参加したんだよね。1人じゃ農業なんてできないけど、皆でならと思って。

菊地 でも、体験って言っても畑の現場でしょ? 年取ってくると草取りとかが大変だったわね。

佐々木(隆) やったことない人は大変だろうなあ。俺はずっと農業やってたから。

松本 大変だけど、皆でやるから楽ってうか…。

佐々木(英) ちょっとつらさが薄れるんだよね。

佐藤 終わったあとは「また今日もやったー!」っ

て、すがすがしい気持ちになるし。

佐々木(隆) 奥さんと二人で農業やってきて、…思い出すとつらいけど、作業していると夢中になって、気分転換にもなったなあ。

佐藤 毎日、寂しい思いで過ごしていたけど、お友達にも恵まれて、参加して良かったわ。

佐々木(英) ふるさとはもうなくなっちゃったけど、ここが第二の故郷って感じ。ここに来て「自分はひとりじゃない」って気持ちになったわ。

菊地 同じような痛みを感じているから、言わなくても通じるもんね。

松本 最初は農業体験だけのつもりが、いつの間にか加工体験のメンバーにも入れられてたね。

佐々木(英) そりゃそうでしょ。顔見知りになつたら声かけるもんね。

松本 おかげで交流が広がったよ。

菊地 今年度も頑張りましょうね。

松本 私もメンバーに入ってるんでしょ?

佐々木(英) 当たり前でしょ!



現在の居住地/  
震災時の居住地



菊地成子さん  
太白区・あすと長町仮設住宅  
/巨理町



佐々木隆夫さん  
太白区・あすと長町仮設住宅  
/名取市



佐藤茂子さん  
太白区・あすと長町仮設住宅  
/太白区



佐々木英子さん  
泉区・借り上げ民間賃貸住宅  
/石巻市



松本茂さん  
宮城野区・借り上げ民間賃貸住宅  
/若林区

みらい編集部は、毎日読者の皆さんと一緒にさまざまな催しや出来事に参加し、取材しています。その一部をご紹介します。

● 11日(月) 自治会による追悼集会  
(あすと長町仮設住宅)

震災から2年を迎えるこの日、あすと長町仮設住宅では、自治会発足1周年に合わせた「追悼集会」が開催されました。

会場となった集会所には、平日にもかかわらず約80名の仮設住宅に住む方々が参加しました。最初に行われた自治会総会では、1年間の自治会の活動について報告。続いて収支についての説明などが行われました。

総会の終了後には追悼式が開かれました。地震が発生した時刻が近づくと、まずは自治会の飯塚正広会長が参加者を代表して挨拶。14時46分には参加者全員が一斉に黙とうをささげ、震災で犠牲になった方たちの冥福を祈っていました。飯塚会長は「追悼集会は、仮設住宅がある限り今後もずっと続けていきます」と話していました。



● 12日(火) この動物な〜んだ?  
(NTT八木山社宅)



みやぎ生協のふれあい喫茶で開かれたタオル人形教室。先生の見本を見て、参加者の方が一言「ブタ?」「猫です」と、間髪入れずに答えた先生に、思わず皆で大笑いしました。

● 14日(木) 春だ! 皆で集まろう!  
(金剛沢前町内会集会所)

西多賀地区社会福祉協議会が「西多賀 春一番交流サロン」を開催しました。NTT三神峯社宅や、近所の借り上げ民間賃貸住宅にお住まいの方々が参加。軽体操や歌のほか、折り紙教室が開かれました。8枚の折り紙を使った宝箱づくりに挑戦したものの、複雑なづくりに参加者の皆さんは悪戦苦闘。そんな中、参加者のお一人が連れてきていたお孫さんの素早い手

つきを見た他の参加者の皆さん。「やっぱ若いと覚えが違うなあ」「負けてらんねえなあ」と、意欲を燃やしていました。皆で互につくり方を教えあい、交流を深めていました。



● 17日(日) 地域と深まる交流  
(泉崎集会所)

泉崎の借り上げ民間賃貸住宅にお住まいの方を対象とした交流サロンが開催されました。「春一番! いずみさき交流サロン」と題された催しは、泉崎地区町内会連合会が「地域の借り上げ民間賃貸住宅にお住まいの方々と交流を深めたい」と、泉崎地区社会福祉協議会などの協力を得て実現したものです。皆で軽体操やレクリエーションを楽しんだ後は、お弁当を食



べながらの懇親会。市外から転居してきたという参加者の方に地元で評判の病院を教えるなど、親睦を深めていました。

● 24日(日) いい香りに癒されながら  
(あすと長町仮設住宅)



ヨガにアロマセラピーにと盛り沢山の内容だったYoga And Music東北主催イベント。全国各地から来たミュージシャンによるライブも開かれ、大盛り上がりでした。

読者から  
ひとこと

● バスの時刻表が新しくなったのね。そしたら仮設住宅のすぐ前にあったバス停が移動して、遠くにいったしまったのよ。なんでだろうね。私は車がないからバスで移動するしかないのに不便になっちゃって。震災から時間が過ぎると、いろんな事が不便になるのかね。 太白区/Sさん

● 三月十二日に二年越しの結婚式を挙げました。本当は震災翌日が予定日でした。つらいことも多いけど、娘の乙連おとばが居てくれたからこそ、何とかしないと、と頑張ってます。式はにぎやかでしたよ。

宮城野区/鈴木淳さん

● 景気がよくなっていくのは歓迎だけど、消費税が上がりがりそうだと不安です。建築資材も値上がりしているし、家を再建するまでの時間ももどかしいですね。 若林区/佐藤さん

ま ち の 語 り 場

集団移転、単独移転、現地再建…。沿岸部にお住まいだった方は今、お住まいの再建に向けて地域ごとに話し合いを進めています。このコーナーでは、それぞれの団体に話し合われている内容についてお知らせします。

宮城野区

新浜復興の会

現地再建グループと岡田入保野地区への集団移転グループがそれぞれ活動しています。

三月三十日(土) 移転希望者説明会

内容

● 久保野地区の宅地割り、宅地価格の説明  
● 個別契約に向けての説明

当日の様子



復興の会の問い合わせ先  
代表 遠藤芳広 090-2020-4002  
移転再建グループ問い合わせ先  
リター 瀬戸健介 090-1066-5646  
会合は随時開催

開発コンサルタントから、地区コミュニティに配慮された世帯配置が公表されました。売買契約に向けた説明では、今後は六月の開発許可申請に向けて五月中に売買契約を進めていくことが確認され、行政からは、開発行為などの手続きについて引き続き支援を行っていく旨の話がありました。他に、開発区域に隣接した共同農地の取り扱いについて協議しました。

宮城野区

南蒲生復興部

個々の生活再建と復興を迅速に進めるため、南蒲生独自の復興まちづくりを進めています。

四月十日(水) 定例会議

内容

● 消防局から津波避難施設の説明  
● 支援組織から今後の活動事業計画について

当日の様子



問い合わせ先  
代表 芳賀正 090-4042-9464  
会合は随時開催  
住民説明報告会  
毎月最終日曜日 岡田会館

二カ所に建設予定の津波避難施設について、消防局から説明がありました。岡田会館西側に建設予定の避難タワーについては、津波からの一時避難施設以外の使い道や景観の配慮を望む声が住民からあがり、交通局岡田出張所敷地内の避難施設については、地元農産物などの直売所を兼ねた、まちづくりと連携する機能が求められました。

若林区

東六郷移転推進協議会

東六郷の浸水区域から六郷地区への集団移転に向けて活動しています。

四月七日(日) 定例会議

内容

● 要望書に対する仙台市の回答  
● 移転先土地売却価格の確定ほか

当日の様子



問い合わせ先  
代表 落合義光 090-4882-3368  
定例会議  
随時開催  
日辺グラウンド仮設住宅談話室

移転事業への支援拡充などを求め、仙台市に提出した要望書に対する回答が報告されました。概ね協力的な回答が得られたものの、公共施設整備補助成に関してさらなる交渉を重ねていくことが確認されました。ほかに、移転先土地売却価格の確定、開発許可の手続き準備、空き区画が生じたことによる新規参加メンバーの募集について確認・話し合いが行われました。

若林区

明日の三本塚を  
考える会

東六郷地区における農地と宅地の一体的な整備や住民主体のまちづくりを目指しています。

三月二十二日(金) 荒谷地区への移転に関する説明会

内容

● 移転プラン二例を説明

当日の様子



問い合わせ先  
代表 小野吉信 090-3122-4843  
会議、学習会は自由参加、随時開催

三本塚町内会に対して、仙台市から2つの移転プランを説明する会が開催されました。プランのうち、一案は農振農用地の除外手続きが不要ですが、道路面積が増えるため費用負担が大きいこと、二案はコンパクトで道路面積が少ないため費用負担は小さいものの、農振農用地の除外手続きが必要となり、住宅着工までの期間が長くなることなどが説明されました。

※記載している内容は、各開催日現在での情報です。最新の情報については各団体へお問い合わせください

東日本大震災から二年。今、さまざまなかたちで支援を続けている方々がいまいます。地域に根づいて支援を続ける方々は、どんな思いで活動しているのでしょうか。情報ボランティア@仙台の大学生記者が取材しました。

「お水の量はこのぐらいかしらね？」さあ鉄板、温まったわよ！」エプロン姿の女性たちの楽しげな声が飛び交い、その雰囲気は、さながら調理実習です。

三月末、若林区蒲町のサンピア仙台であった「ふれあい喫茶」。この日はメーカー担当者も講師に迎えた「お好み焼き講座」がメインです。近隣の借り上げ民間賃貸住宅などで暮らす二十名と、ボランティア十名が一緒に約二時間、お好み焼きをほおばりながら穏やかなひと時を過ごしました。

ふれあい喫茶は、みやぎ生協が二〇一一年五月から県内各地で開いている支援活動です。目的は「被災された方々に心落ち着ける時間を提供し、コミュニティづくりを応援すること」。現在、仙台市内では仮設住宅集会所など十一カ所と生協四店



参加者の間で給仕に動き回る高橋さん(中央)。「おいしい?」「また来てね」などと声を忘れません

舗の集会所で、それぞれ月一回程度のペースで開いています。スタッフは地元の生協組合員らのボランティア。基本はお茶やコーヒーと、おしゃべりを楽しむ場ですが、取材時のように料理や手芸品を一緒につくるなどの趣向もあります。

お茶と一緒に振舞われる菓子類は、全国各地にある生協からの支援品です。その多くは各地の「ご当地菓子」。そんなやさやかな心遣いは、参加者にも好評です。

「被災地を訪れるだけが支援じゃありません。私たちの支援も、全国



取材の日行っていたお好み焼きづくり。家事だと面倒に思えることも、仲間と一緒に楽しむと変わります

からの支えで成り立っています」。みやぎ生協仙塩ボランティアセンター長の高橋朋子さんは「一人は万人のために、万人は一人のために」の理念を同じくする全国の同志に感謝します。

高橋さんには忘れられない思い出があります。震災後、ショックで声が出せなくなった女性がいました。ふれあい喫茶に参加し、皆と一緒にゆつくり歌を口ずさむ中で、自然と自分の声を取り戻したのです。「人と触れ合い、一緒に時間を過ごすことが人を癒す大きな力になるんだと再

確認しました。規模は小さくても今後でもできる限り、ふれあい喫茶を続けていきたいと思っています」。ふれあい喫茶では震災後、連絡が途絶えてしまった人同士が再会を果たすことも多いといわれています。「また会えて良かった!」。地道な場づくりは、つながりの再生にも一役買っています。

ふれあい喫茶 5月開催日程 申込不要、参加無料

- ◆15日(水) 若林区/みやぎ生協六丁の目店店内
- ◆16日(木) 太白区/NTT八木山南社宅集会所(ミニマートの上手な育て方)
- ◆21日(火) 青葉区/みやぎ生協八幡町店集会所
- ◆21日(火) 若林区/JR南小泉アパート仮設住宅集会所
- ◆21日(火) 太白区/NTT三神峯社宅集会所(紙粘土のうさぎづくり)
- ◆22日(水) 宮城野区/扇町1丁目公園仮設住宅集会所
- ◆24日(金) 太白区/あすと長町仮設住宅集会所
- ◆25日(土) 泉区/NTT鶴が丘社宅集会所(キャンディボックスづくり)

時間/各日10:30~12:00(24日のみ10:30~11:30)  
 問/みやぎ生協仙塩ボランティアセンター  
 022-218-3880(平日9:30~18:00、祝日を除く)  
<http://www.miyagi.coop/support/shien/volunteer/>  
 ※開催日程は、1~2週間前からホームページや各会場のちらし・ポスターで告知

取材：梅村雅@東北学院大学

情報ボランティア@仙台 ブログでも発信中です。

「心落ち着ける場 みやぎ生協の「ふれあい喫茶」」<http://flat.kahoku.co.jp/u/volunteer16/> より(地域SNS「ふらっと」ブログ)

情報掲示板

仮設住宅やご近所で開催される催し物や相談会、支援団体による支援情報などを紹介します。

荒浜フォーラムを開催します

荒浜の復興について考えるフォーラムを開催します。作家や民俗研究家の講話、荒浜の復興を考えるシンポジウム、荒浜再生の活動計画を考えるワークショップなどを2日間にかけて行います。申込不要、参加無料。

対象 どなたでも参加できます

時 5月25日(土)15:00~18:00、5月26日(日)9:30~16:00

場所 七郷市民センター

内容 森まゆみ氏(作家)、結城登美雄氏(民俗研究家)、室崎益輝氏(災害復興学会特別顧問)の講話、シンポジウム、ワークショップなど

問 070-5059-9869(庄子)

長町商店街 笑顔のスタンプラリー

長町商店街では、スタンプを集めて豪華賞品を当てる笑顔のスタンプラリーを開催中です。ガイドが長町を案内する「長町街歩きガイドツアー」なども開催。ぜひ参加してください。

【笑顔のスタンプラリー】

期間 6月30日(日)まで(各日10:00~17:00)

内容 応募用紙(長町駅前プラザなどで配布)に商店街の10カ所に設置されたスタンプから3個を押して応募。抽選で長町の名物盛り合わせの特別限定商品などをプレゼント

【長町街歩きガイドツアー】

実施日 5月12日(日)、19日(日)、26日(日)、6月2日(日)、9日(日)、23日(日)、30日(日)

毎回10:00~ 長町駅前プラザから出発

※申込不要、参加無料

問 022-304-2321長町商店街連合会

織部流震災復興仙台茶会

この茶会は、実際に被災された方々も一緒にお茶を喫することで気分転換をしてほしいという思いで企画されました。大年寺山の風流な茶室でお茶を味わってください。申込不要。

対象 どなたでも参加できます

時 5月25日(土)午後、5月26日(日)午前

場所 茂ヶ崎庵(太白区茂ヶ崎3-10-20)

主催 綾部流山形支部

問 023-623-1072織部流山形支部(蜂谷)

大切な人を亡くした方のわかちあいの会

仙台グリーフケア研究会では、大切な人を亡くした方の「わかちあいの会」を開催しています。ご遺族同士が、喪失による悲しみ、怒り、つらい気持ちなどを静かに語り合います。会の中で話されたことは、他にもれることはありません。申込不要、参加無料。

対象 大切な人を亡くされた方

時 5月18日(土)14:00~16:30(受付13:30~)

場所 仙台市市民活動サポートセンター(青葉区一番町4-1-3)

※託児希望の方は事前にお知らせください

問 070-5548-2186仙台グリーフケア研究会事務局

支えあいセンターからのお知らせ

借り上げ民間賃貸住宅(以下、みなし仮設)にお住まいの方を支援する支えあいセンター主催の、おすすめサロン・イベント情報です。すべて参加無料。

サロン・イベント名	対象	時	時間	会場	内容	申込	問い合わせ
第3回ヤマモト元気会	山元町から避難され主に太白区内のみなし仮設にお住まいの方	5月11日(土)	10:00~12:00	太白区中央市民センター	同郷茶話会	要 (電話か返信はがき)	支えあいセンター たいはく 022-217-7234
まざらいい若林愛・違いサロン	若林地区のみなし仮設にお住まいの方	5月15日(水)	10:00~12:00	若林市民センター	歌と踊りのさわやか演奏会	要 (返信はがき)	支えあいセンター わかばやし 022-781-0559
らくらくリフレッシュ inみやぎの	宮城野区中央市民センター周辺のみなし仮設にお住まいの方	5月15日(水)	10:00~12:00	宮城野区中央市民センター	自宅のできるストレッチ、筋トレなどの軽運動	要 (電話)	支えあいセンター みやぎの 022-292-0990
体を動かそう(健康体操)	泉区のみなし仮設にお住まいの方	5月17日(金)	10:00~12:00	泉区中央市民センター	泉中央地域包括支援センターの方と一緒に健康体操	不要	支えあいセンター いずみ 022-772-5755
福沢サロン	五城中学校区にお住まいの方	5月28日(火)	13:00~15:00	福沢市民センター	介護予防健康運動、お茶飲み交流会	要 (電話)	支えあいセンター あおば 022-217-7234

※その他の交流サロンについては、支えあいセンターからのダイレクトメールでご確認ください

あすと長町仮設住宅イベント(会場はすべて仮設住宅集会所)

※下記以外にもさまざまな催しがあります

日時	イベント	対象	問い合わせ
5月14日(火) 10:30~12:00	仙台ほっとカフェ	仮設住宅入居者	仙台的のちの電話事務局 022-718-4401(ほっとカフェ担当)

爽やかな風が街を吹きぬけるこの季節、からだを動かすことの大好きな私は、まわりの方に「さあ、動きましょう」と声をかけるのですが、「苦手」「嫌いだから」と答えが返ってくるのがあります。人には得手不得手や好き嫌いがあるので、それも仕方ないことです。

動物である私たち人間は、動くことだから機能が維持されているのですが、何かの理由でこれまでの『動くこと』が制限された場合にはどうしたらよいのでしょうか。

例えば、病氣や怪我の時、「安静にしてください」と言われれば、安静を保つよう努めます。これは、治療や回復のために必要なことです。同時にこの安静な状況は、からだにとって従前の生活とは違って『動かないこと』が続くために、より大切な機能を失いかねない状況でもあります。この状況を可能な限り短くとどめるには、『動かないこと』の危険を知り、必要以上に安静や大事を取りすぎないことが大切です。

動くところは動かし、出来る事は自分でする、そして、普段から趣味など動く機会を創り出すことも、健康的な生活をするために、とても大切です。

入江徳子(いりえ のりこ)

健康運動指導士として震災後、避難所や仮設住宅集会所で指導を行っている健康増進センターのリーダー的存在

クロスワードパズル

出題 石田竹久

こたえ

A	B	C	D	E	F
---	---	---	---	---	---

1		2	3		4	5
		6		7		
8	9		F	10		
			11			
12		13			14	
		15		16	A	
17				18		
E				C		

タテのカギ

- 5月18～19日に開かれる仙台・青葉まつり。今年の〇〇〇は「明日への力を百万人の情熱祭」
- 「悪徳」の反対語
- 仙台市の気候の特色のひとつに、〇〇の発生が挙げられます。年に20～30回と、政令指定都市の中でも群を抜いた多さです
- 青葉まつりのゆるキャラ、青葉〇〇〇〇〇
- おじいさん。また、老人の尊敬語
- 木材を何本も並べて結び止め、水に浮かべたもの
- 雲の切れ目に見える青空
- 「〇〇〇、礼、着席」
- 俗に、年輩の男性が放つ、時代遅れのダジャレなどは〇〇〇ギャグ
- 建設中の地下鉄東西線は、動物公園駅(仮称)から〇〇〇駅(仮称)を結ぶ予定
- 魚をおろしたり骨を切ったりするのに使う、〇〇包丁

ヨコのカギ

- 市に保険料や住民税などを納める方法のひとつで、給与などから引かれる方式
- 6月末まで、仙台市内の複数のミュージアムを周遊できる、「ミュー〇〇」が発売されています
- 3人組
- カラオケ好きが離さないものといえば?
- 洋服に対する和服
- 5月10～25日、岩沼市の金蛇山神社で〇〇まつりが開かれます
- 京の〇〇〇〇、大阪の食い倒れ
- 春が過ぎると梅雨の季節。梅雨入りに対して、梅雨が終わるのは梅雨〇〇
- 50年に一度の〇〇〇〇の本尊御開帳に合わせたイベント列車が、仙台-山形間を運行
- 気仙沼市の徳仙丈山が名所。5月から6月に見頃を迎えます
- 自転車シェアリングが仙台市で実現しました。その名も「ダテ〇〇〇」

前回のこたえ

ユキドケ

でした。

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20

編集後記

春は出会いと別れの季節。今までお世話になったカレらと別れ…新しいグッズを購入しました! テントにランタン、バーナーなどなど。春はキャンプシーズン到来の季節でもあります。(さいとう)

もう春だというのに、未だ真っ黒タイツで過ごす日々。足が傷だらけで、とても人様にお見せできません。何故、生傷が絶えないのか? その謎は次号の編集後記で明らかになる…かも?(あつみ)

お住まいを移転される方へ

お住まいを移転されると、移転先に「みらいん」が届かなくなる可能性があります。引越し後も引き続き購読を希望される方は、編集部までご一報ください。

宛先: 〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西町2-12 「みらいん」編集部  
TEL: 022-390-5755  
FAX: 022-390-5756 e-mail: kawara@mmmm.or.jp